

迷惑メール情報提供用プラグイン

操作手順説明書 (Outlook Express版)

《 目 次 》

ご利用上の注意	・ ・ ・ ・ ・	Page 2
1. 情報提供の手順	・ ・ ・ ・ ・	Page 3
2. 各種お知らせ機能	・ ・ ・ ・ ・	Page 6
3. 各種警告メッセージ	・ ・ ・ ・ ・	Page 8
4. その他	・ ・ ・ ・ ・	Page10

《ご利用上の注意》

・ POP以外のアカウントへの対応

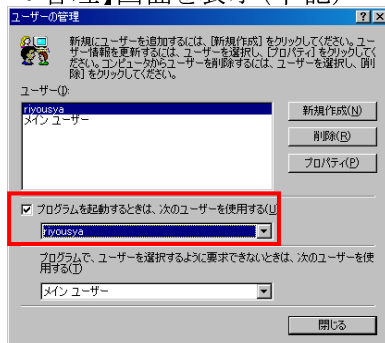
本プラグインはPOP以外(IMAP/HTTP等)の受信サーバーには対応しておりません
(IMAP/HTTP等のアカウント利用環境で本プラグイン機能を使用することはできません)。

・ 複数ユーザーでのご利用に関して

本プラグインは、Outlook Expressを複数ユーザーにてご利用されている環境において「ユーザーの切り替え」には対応しておりません。 Outlook Express起動時のユーザーでのみプラグイン機能を使用することができます。
複数ユーザーでの利用環境において起動時のユーザー以外で本プラグイン機能をご利用の際は以下の手順(例:ユーザー[riyousya]でプラグイン機能を使用する場合)により使用してください。

1) Outlook Express を起動

2) メニューバー「ファイル」→「ユーザー」→「ユーザーの管理」の順に選択して【ユーザーの管理】画面を表示(下記)

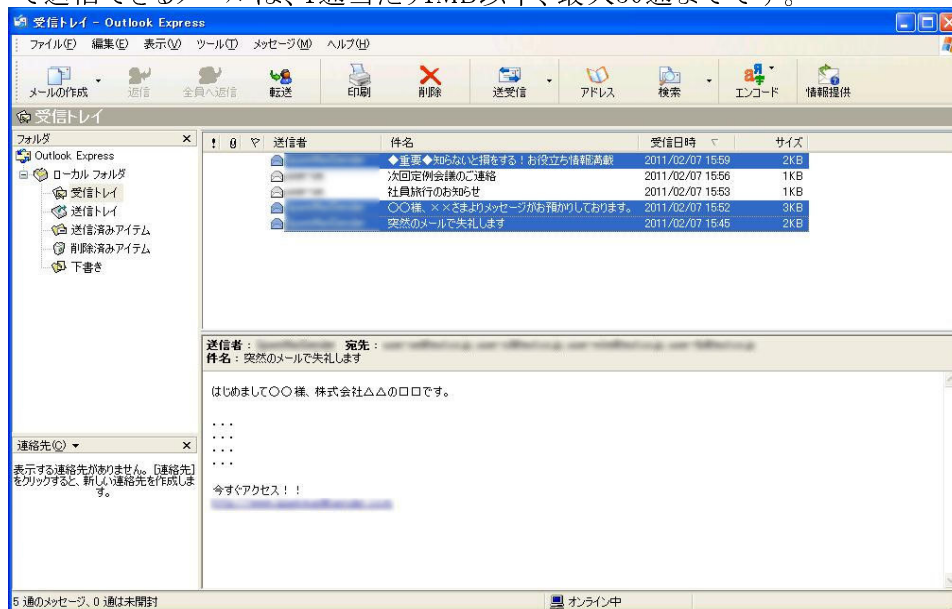


3) 「プログラムを起動するときは、次のユーザーを使用する」にチェックし、プラグイン機能を使用するユーザーを選択後「閉じる」ボタンをクリック

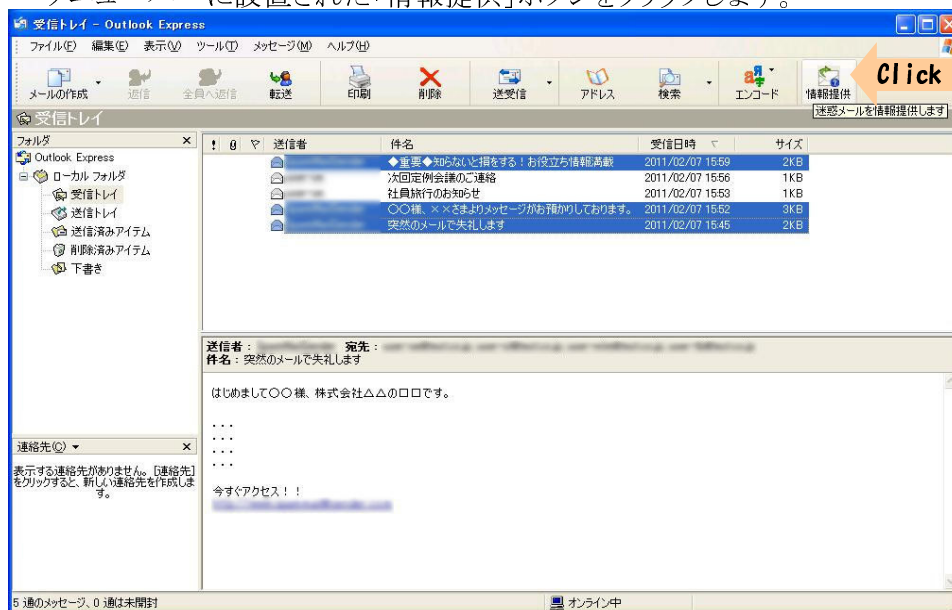
4) Outlook Express を再起動(選択したユーザーが既定ユーザーとなりプラグイン機能がご利用できます)

1. 情報提供の手順

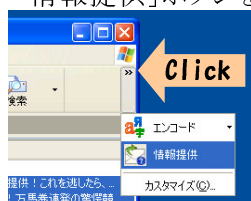
Step.1 任意のフォルダから情報提供を行うメール(迷惑メールと判断されたメール)を選択します。複数のメールを選択することも可能です。ただし、一度の情報提供で送信できるメールは、1通当たり1MB以下、最大50通までです。



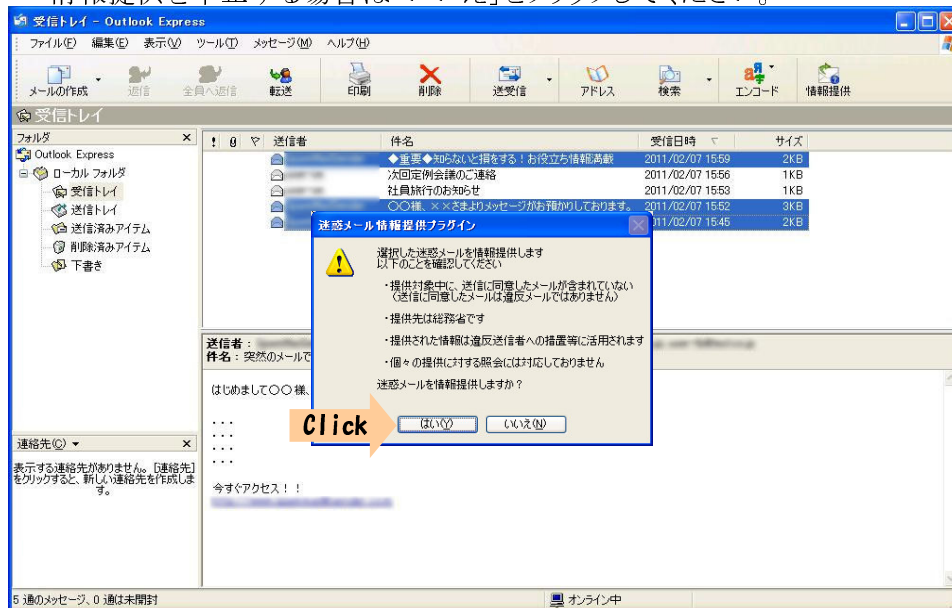
Step.2 メニューバーに設置された「情報提供」ボタンをクリックします。



「情報提供」ボタンはメニューバー右端に設置されます。お使いの環境によってはボタンが隠れてしまうことがあります。その場合は、「>>」ボタンをクリックすることにより「情報提供」ボタンを使用することができます。

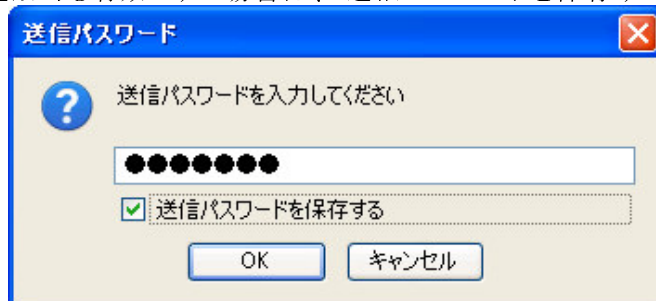


Step.3 各種条件(詳細は「3.各種警告メッセージ」)を満たしていれば【確認メッセージ】が表示されます。 記載事項を確認し情報提供を続ける場合は「はい」をクリックします。 情報提供を中止する場合は「いいえ」をクリックしてください。



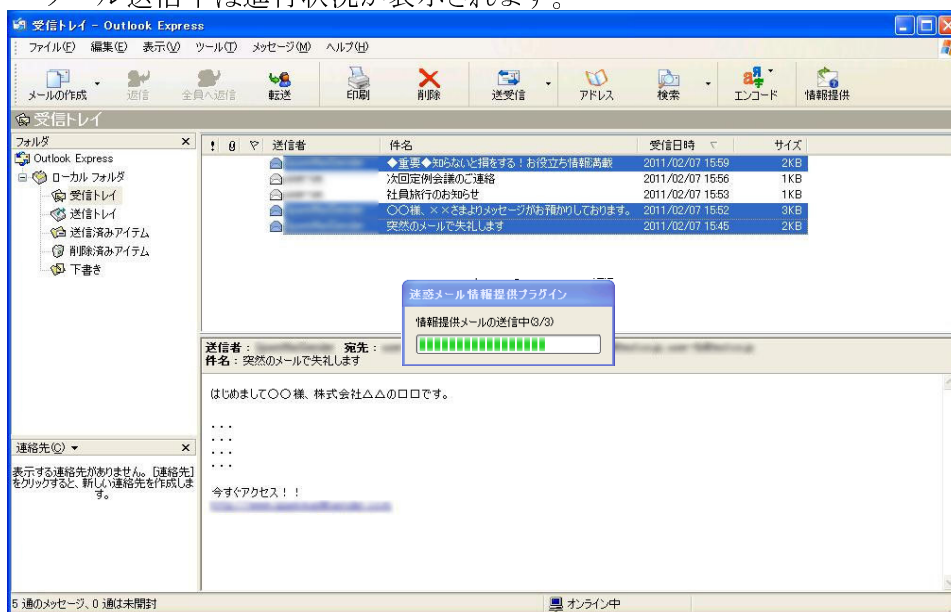
SMTP認証(送信メール認証)設定がされている環境でご利用の場合、上記【確認メッセージ】で「はい」ボタンクリック後、パスワード入力画面(下図参照)が表示されることがあります。 あなたが電子メール利用のために設定しているパスワードを入力後、「OK」ボタンをクリックしてください。

入力したパスワードはOutlook Expressを終了するまで有効です(Outlook Expressの終了時にリセットされます)。 入力パスワードを保存し次回以降のOutlook Express起動時にも有効とする場合は、「送信パスワードを保存する」にチェックしてください。



※パスワード保存には暗号化したパスワードが使用されます。

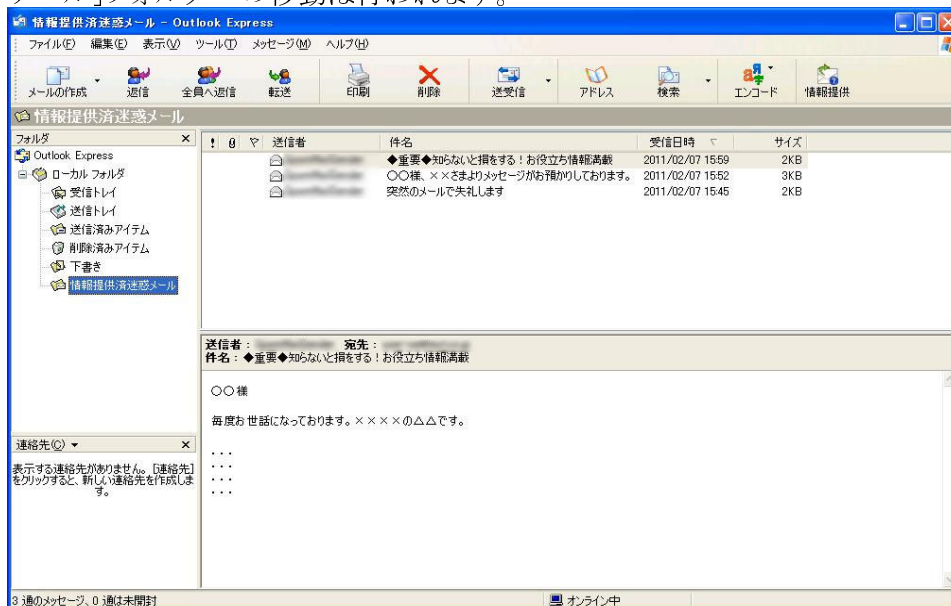
Step.4 メール送信中は進行状況が表示されます。



Step.5 送信が完了すると、情報提供を行ったメールは元のフォルダから「情報提供済迷惑メール」フォルダに移動します。

これで情報提供の操作は完了です。一度情報提供を行ったメールは再度情報提供することはできません。（「情報提供済迷惑メール」フォルダから他のフォルダに移動した場合も同様です。）

また、選択したメールに既に情報提供を行ったメールが含まれている場合、そのメールの情報提供（送信）は行いませんが、元のフォルダから「情報提供済迷惑メール」フォルダへの移動は行われます。



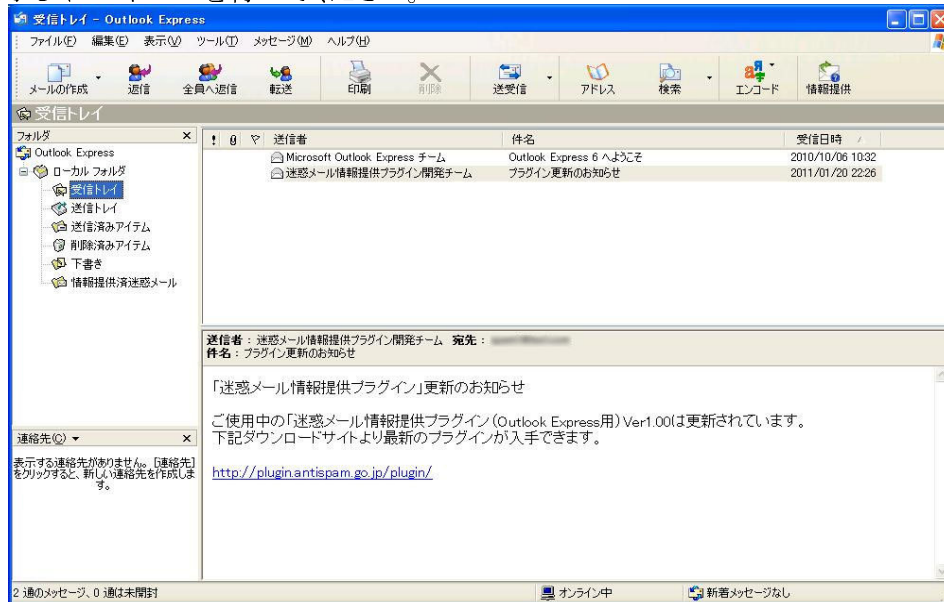
「情報提供済迷惑メール」フォルダはインストール後初回情報提供時に作成されます。既に同名のフォルダが作成されている場合は既存のフォルダが情報提供済みメールの格納フォルダとして使用されます。

2. 各種お知らせ機能

1) プラグイン更新通知

Outlook Express起動時、受信トレイに『プラグイン更新のお知らせ』メッセージ(下記)が到着していることがあります。

これはご利用中のプラグインの更新(バージョンアップ)をお知らせするメッセージです。このメッセージをご覧になった場合は、記載されたURLにアクセスして最新版のプラグインを入手しインストールを行ってください。

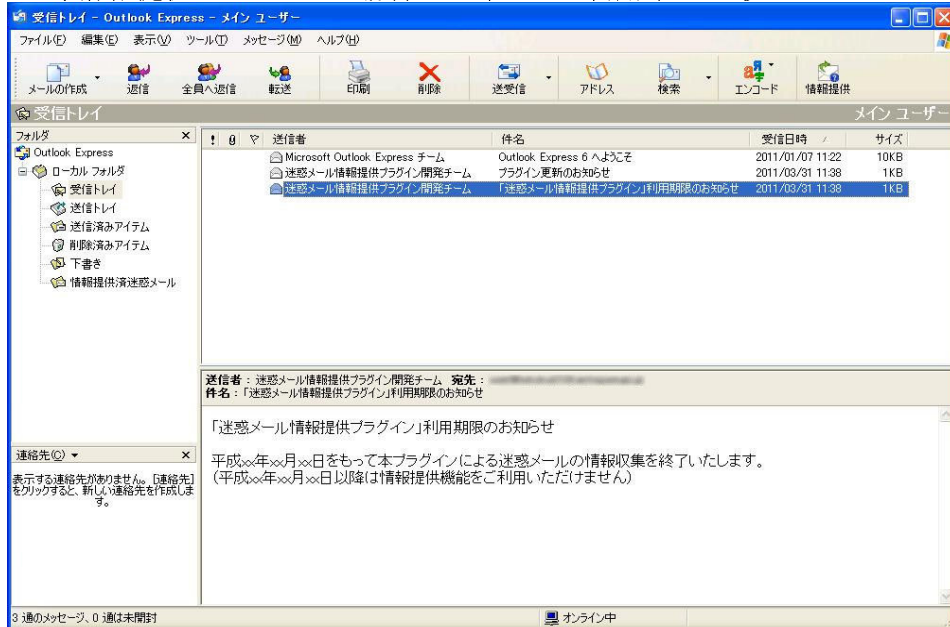


※このメッセージ(メール)は、プラグインがインターネット回線を利用して最新バージョンを取得し、利用中プラグインのバージョンが古いと判断したときに発行するメッセージです。

2) 利用期限通知

『プラグイン更新のお知らせ』メッセージ同様、Outlook Express起動時に『プラグイン機能使用期限のお知らせ』メッセージ(下記)が受信トレイに到着することがあります。

これはご使用中のプラグイン機能(情報提供機能)の利用停止日が近づいていることをお知らせするメッセージです。利用停止日以降、本プラグイン機能はご使用できなくなりますので、情報提供の予定がある場合はお早めにご利用ください。

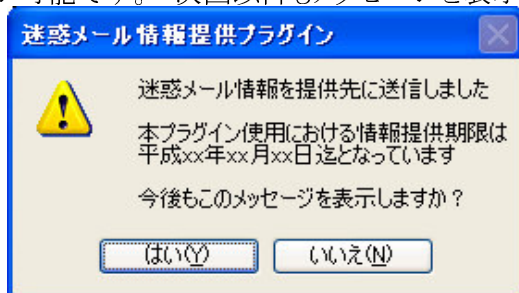


※このメッセージはプラグイン機能の利用期限が近づいていることをお知らせするものです。このメッセージを受け取られた後も利用停止日以前であれば引き続きプラグイン機能(情報提供)をご利用いただけます。

3) 利用期限通知(情報提供操作後)

情報提供メール送信後([情報提供の手順 Step 3]で「OK」ボタンクリック後)に『利用期限通知』メッセージ(下記)が表示されることがあります。

お知らせする内容は、[2) 利用期限通知]と同じですが、こちらは「いいえ」をクリックすることにより、次回以降の情報提供メール送信後に、このメッセージを表示させなくすることが可能です。次回以降もメッセージを表示する場合は「はい」をクリックしてください。

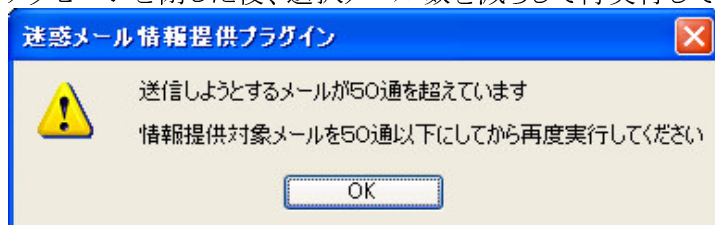


3. 各種警告メッセージ

本プラグインにおける情報提供機能のご利用には若干の制約があります。 操作内容によっては次のような警告メッセージが表示される場合があります。

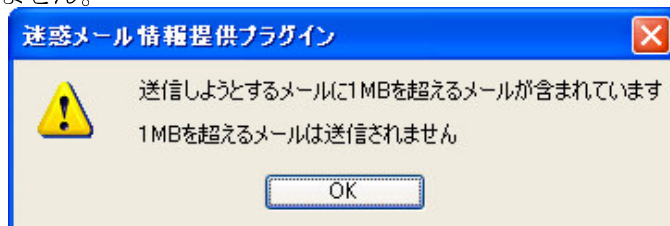
1) 「通数制限超過」警告メッセージ

51通以上のメールを選択して「情報提供」ボタンをクリックしたときに表示されます。
1度の操作で送信できるメール数の上限は50通です。「OK」ボタンをクリックして警告メッセージを閉じた後、選択メール数を減らして再実行してください。



2) 「サイズ制限超過」警告メッセージ

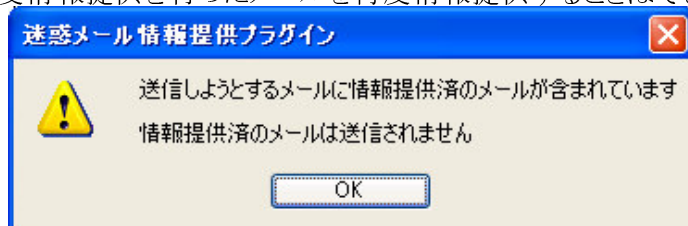
選択したメールにサイズが1MBを超過しているものが含まれている場合、「情報提供」ボタンのクリック後に表示されます。
送信できるメールサイズの上限は1MBです。1MBを超えるサイズのメールは送信されません。



※このメッセージが表示された場合においても、1MB以下のメールについては送信されます。 選択した全てのメールの情報提供を取りやめる場合は、**【確認メッセージ】**([情報提供の手順 Step 3])にて「いいえ」ボタンをクリックして操作をキャンセルしてください。

3) 「重複送信」警告メッセージ

選択したメールに既に情報提供済みのもの(通常は「情報提供済迷惑メール」フォルダに格納)が含まれている場合、「情報提供」ボタンのクリック後に表示されます。
1度情報提供を行ったメールを再度情報提供することはできません。



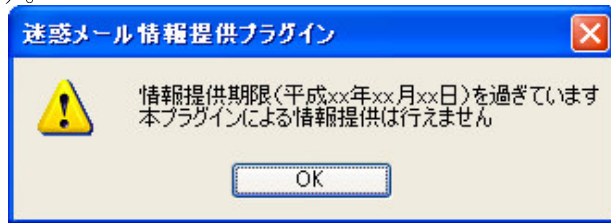
※このメッセージが表示された場合においても、未送信(未提供)のメールについては送信されます。 選択した全てのメールの情報提供を取りやめる場合は、**【確認メッセージ】**([情報提供の手順 Step 3])にて「いいえ」ボタンをクリックして操作をキャンセルしてください。

※画面上で情報提供済か否かを判断することはできませんので、情報提供後に「情報提供済迷惑メール」フォルダからメールを他のフォルダへ移動させることはお勧めできません。

4) 「利用期限経過」警告メッセージ

利用期限以降に「情報提供」ボタンをクリックしたときに表示されます。

このメッセージが表示されましたら、本プラグインのアンインストールを行うことをおすすめします。



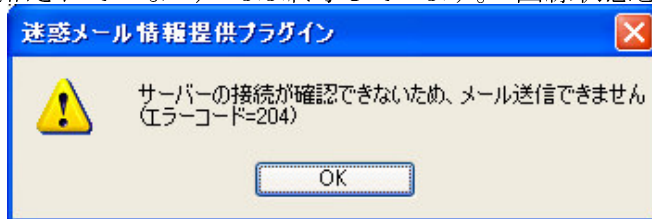
4. その他

その他本プラグイン機能ご利用時に、次のメッセージが表示されることがあります。

1) 「メール送信不能」メッセージ

回線断等の理由によりご利用のMailサーバーへ接続できない状態であることをお知らせするメッセージです。

このメッセージが表示された操作は、情報提供が不完全(一部または全てのメールが送信されていない)のまま終了しています。回線状態を確認後、再度実行してください。



※ 送信中(「情報提供」ボタンクリック後)に回線が切断された場合は、選択したメールのうち1部のメールは送信されている可能性があります。その場合、送信完了したメールは「情報提供済迷惑メール」フォルダへ移動されています(再度の情報提供はできません)。

※ お問合せいただく場合、表示のエラーコードを記載してください。